

令和6年度1月定例教育委員会議事録

【日時】

令和7年1月17日（金）

開会 午後1時30分

閉会 午後4時00分

【会場】

辰野町民会館 104 学習室

【出席者】

8名

（辰野町教育委員会）

教育長	宮澤 和徳
教育長代理	飯澤 隆
教育委員	垣内 由佳
教育委員	関 政彦
教育委員	萩原 多恵子

（事務局関係）

学びの支援課長	福島 永
学校支援課長	小澤 靖一
学校支援課長補佐	宮原 隆史

【傍聴者】

0名

【次第】

1 議事

(1) 【非公開】 準要保護の認定について

2 協議

(1) 【非公開】 学校運営上の諸課題について

(2) 【非公開】 教職員の人事異動について(転出予定者)

(3) 総合教育会議【1月23日(木)】について

(4) 6年度教育課程の反省と7年度教育課程の方向について

(5) 町教育委員会研修視察について【2月7日(金)】

(6) 第6回あり方検討委員会【1月30日(木)】について

(7) その他

3 報告事項

(1) 市町村教育委員会連絡協議会報告

(2) 令和5年度教育に関する事故の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告について

(3) その他

○開会

1 開会宣言

2 会期の決定

- ・会期については1日とする。全員異議なし。

3 議事録の承認

- ・承認。

4 宮澤教育長挨拶

つい先日、新年の挨拶を交わしたかと思っていましたが、もう半月が経過してしまいました。来週の月曜日の大寒を前にして、いよいよ1年で最も寒い時期に入っていきます。インフルエンザが蔓延しているようです。医療機関も大変な状況のようです。関わり方に気をつけてこの冬を乗り切っていきたいと思います。これから3学期後半に向けて、教育委員の皆様も忙しくなってしまうのでよろしくお願いします。

さて、30年前の今日、平成7年1月17日午前5時47分、阪神淡路大地震があり大きな被害が出ました。近代都市での災害として日本国内のみならず、世界中に衝撃を与えたこの地震で犠牲者は6,400人を超え、戦後発生した自然災害では東日本大震災が発生するまでは最悪のものとされておりました。震災や火災の様子がリアルに報道されて、こんなことが起こるのかというぐらい、昨年の能登半島地震もそうでしたが、改めて怖いと思います。今日は各地で追悼式典等が行われておりますが、昨年から南海トラフ地震についての危険性が指摘されるようになり、確率もここにきてまた一段と上がりました。さまざまな情報が飛び交っておりますけれど、嫌ですが日本では地震を避けて通ることができません。改めて防災意識を高め、万一の時には自分の命を守る行動がとれるように、学校における防災教育を充実させていかなければならないと思っております。

今週の火曜日に町校長会があり、年末年始休業の反省を行いました。小中学校では大きな事件事故などなく、平穏な休みを過ごすことができたようです。何もなく平穏な生活を送れることは尊いことだと感じます。

いよいよ3学期に入りました、この3学期は登校日数こそ少なく、小中学校は40日ほどしかない状況です。今年度の反省のまとめ、次年度の教育課程編制など大変大事な時期でもあります。3学期のあり様が令和7年度を決めますので、よい3学期、充実した3学期になればと思います。

きのう、辰高フォーラムがありましたが、校長先生の挨拶の中で、高校は登校日数を数えますと16日、3月の5日頃が卒業式ですので、1月2月しかないということ

です。

さて、今日の定例教育委員会ですが、議事として1点、準要保護の認定、協議としては通常の学校運営上の諸課題、総合教育会議について、教育委員会の事務事業評価等になります。それではよろしくお願いします。

5 議事

(1) 【非公開】準要保護の認定について

- ・宮原学校支援課長補佐より説明。承認。

6 協議

(1) 【非公開】学校の様子・運営上の諸課題について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『学校の様子及び運営上の諸課題』『1月校長会資料』を提示。

(2) 【非公開】教職員人事異動について(転出予定者)

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『令和6年度末 辰野町内小中学校教職員人事異動名簿』を提示。

(3) 総合教育会議について【1月23日(木)】

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『令和6年度 第1回総合教育会議について』『児童生徒の学力状況からみえる辰野町の児童生徒』『令和6年度 Q-U 検査からみえる町内小中学生の状況』を提示。
- ・当日の会議内容となる5項目を確認。各担当から説明をいただき、その後意見交換を行う予定である。
- ・学校の新たな当たり前をつくるために、来年度の授業時間数を時期によって(4月やゴールデンウィーク・夏休み明け等)4～5時間授業にする。子ども達と先生の遊びの時間や会議の時間等を確保していきたい。中学校においては、制服や校則について協議していく予定である。
- ・学びの支援課担当内容について福島課長より説明。
「子ども・若者の居場所づくり」について、町民会館の104学習室とエントランスを学習スペースとして利用することを検討している。今後、会議室の予約を停止して、場所を確保していく。
「辰野西小学校体育館の新たな利用にあたって」について、一般利用者からエアコン利用に伴う電気使用料を徴収していく方向で検討している。社会教

育委員会や体育館利用団体と相談の上、利用料を設定していく。今後の流れとしては、2月に利用料決定、3月に条例改正をして電気使用料負担をお願いする。

< A 委員 >

西小学校体育館のエアコンについてですが、オンオフの管理はどうなっているのでしょうか。電源を入れっぱなしということはないですよね。

< 福島学びの支援課長 >

コインやカードなどで時間管理をするというシステムではないので、利用される方々の善意に任せて、利用する時間に合わせて電源の入切をしてもらうようになります。

< B 委員 >

学校の授業時間中は入れっぱなしでしょうか。季節の中間期はオフ期間があるのでしょうか。

< C 委員 >

入学式や卒業式などの時によさそうですね。

< 宮澤教育長 >

エアコンが設置されたことで、今まで使っていなかった人達が使うということが出てくるのかもしれませんが。

< 福島課長 >

暑さのピークとなる7～8月のガス使用料の試算は高額になる見込みになっています。

< D 委員 >

ガスでよかったのかもしれませんが。電気の場合、エアコン起動時のモーター圧縮に電力が消費されるため、電源のオンオフを繰り返すとランニングコストがかさんできます。

< 小澤学校支援課長 >

非常時に避難所を開設する際、室外機は自家発電機能がついているのでガスが供給されていれば発電できます。しかし、電気が消えて自家発電に切り替わ

り、LED照明がつくとダウンしてしまいます。点灯の時の消費電力が大きいからです。そのため、非常時は元々ある照明ではなくて、非常用ライトで対応しなければなりません。それと、ガスバルクのコンセントに電力供給用の小型発電機をつないで電気を起こし、バルクに電力を供給しないとガスが出てこないようです。

< E 委員 >

体育館の料金設定が難しくなりますね。

< 福島学びの支援課長 >

実際にかかった電気料金を全額支払ってもらうとなると高額になるため、利用者みなさんに 100%負担してもらうのは難しいかと思います。

< 宮澤教育長 >

他にはご意見ございますか。

< F 委員 >

「子ども・若者の居場所作り」についてですが、総合教育会議の内容にいらしていただいてうれしく思います。会議当日には、学習スペース利用の開始時期を詳しくお伝えしていただけるのでしょうか。

< 福島学びの支援課長 >

まだ町長の決裁をもらっていないので、開始時期については未定です。104 学習室の予約が 2 ヶ月先まで入っている状況なので、年度替わりがいいタイミングになるかと思います。

< G 委員 >

図書館で勉強する時はお弁当を持参するので、今後 104 学習室が利用できるようになれば、館内のエントランスで飲食ができるのでありがたいです。駐車場が広いので送り迎えのことを考えると、町民会館は条件がいいです。場所を確保してもらえただけで十分です。

(4) 6 年度教育課程の反省と 7 年度教育課程の方向

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『辰野町内小中学校 今年度教育課程の反省』を提示。

(川島小学校)

- ・「子どもが進める学習を目指して」というテーマを掲げて取り組んできたが、子どもが課題意識をもち主体的に課題に向かっていくよさを各担任が真に理解しているかで、取り組みの差が生じていた。
- ・日々の教育活動では、来年度から通うことになる西小、東小、両小野小との交流活動を進めてきた。3学期も継続して行っていく。

(辰野西小学校)

- ・「生き生きと自らの考えを表現し、認め合う子ども」を目指し、全校で「問い」があり「追究」することを大事にしてきた。また、公開授業を通して、職員が自己課題解決の取り組みを実証してきた。今後も「授業ミーティング」を中心に、職員の対話量を増やし、主体的に授業改善に向かっていける職員を育てていきたい。
- ・子どもの意欲を高めるためには、良いところを肯定語で接していくことが大事である。担任と子どもとの間でよりよい関係をさらに構築していきたい。
- ・来年度は3学期制を維持しながらも、通知票は2学期制として行っていく方向で検討している。

(辰野東小学校)

- ・「自律した姿」を目指して授業づくりを行ってきた。全校研究授業でも「学びたいことを学びたい方法で学ぶ主体的な子どもの姿」を大切にして、指導案作りを行うことができた。その一方で、日々の授業において目指すべき子どもの姿を意識した授業作りができたかは個人差があった。来年度は校外での公開授業に挑戦したい。
- ・今年度途中から冬日課を取り入れて、子どもの下校を早くした。保護者からは今まで通りに戻して欲しいという声があったが、子どもにとってどちらがよいのかを検討し来年度の方向を決めていく。

(辰野南小学校)

- ・子どもたちが自主的に伝え合い、応え合い、受け止めるような授業づくりを進めてきた。先生方が意識して取り組んでいたが、子どもたちにはまだ十分に浸透するには至らなかった。
- ・現行の日課は定着してきているが、1年生の時数が多いことを踏まえ、1年生の水曜日の日課を若干早めることを検討する。水曜日は清掃なしで6時間を確保しているが、来年度も2年生以降は同様に進めていきたい。夏休み中のプー

ル開放は実施する。

(辰野中学校)

- ・来年度の教育課程研究協議会の方向が見えないが、予定では英語の公開校であるため、校内体制としては英語科を中心に授業研修を進めていく。人的配置も含めて、すでに準備が進んでいる。
- ・生徒が意欲のエネルギーを発揮し、自分の思いや願い、考えを発信できるような姿に育てていきたいとやってきたが、まだ十分ではないと考える。生徒に呼びかけていくためには、学校としてそのような機会を保障する必要がある。

< H委員 >

中学校のテストの結果を見ていると2つのこぶになっていて、ここ何十年も同じような状況が続いているように思います。授業の目標が1つ掲げられているが、目標を達成できる人達とできない人達のそれぞれの実態に合わせた目標が必要ではないかと思えます。特に算数、数学、英語はその必要性を感じます。全員が1つの目標に向かうのではなく、いくつかのめあてを持って、それが達成できたらすごいねと言えるような状況を作っていけると良いと思います。

< I委員 >

TOCO-TONは、考えてやっていけば楽しく勉強できて、学校が嫌にならないかと思えます。

< 宮澤教育長 >

学校が嫌になる理由は、勉強が分かるかどうかというのが大きいです。かつては授業が分からなくても、授業以外の行事の楽しみがあったので学校に行く意味を感じていたが、学習指導要領が変わる度にそういった楽しみがなくなってしまったように思います。

< J委員 >

部活の地域移行については、成功例だけを取り上げてうまくいくのでしょうか。立ち上げの時はよくても、継続していけるのかどうか疑問です。

< K委員 >

今はよくても、10年20年先に指導者が年をとってから引き継いでくれる人材があるのかどうかという問題もありますね。

<L委員>

勉強と同様、習い事のように部活動をプロに任せるというのも良いかもしれませんがね。

<宮澤教育長>

子ども達にとっては人生に1回しかない小学校や中学校生活なので、よかったなと思えるような生活を送ってもらいたいです。周りはどんどん進んでいますが、辰野町としては焦ることなくできることを1つでも2つでもやっていけばいいと考えています。できるところは地域の方達にお願いをして、あわせて学校の先生にもご苦勞をいただければと思います。しかし、勤務時間短縮のために部活を一律に取り上げるのは、いかがなものかと思います。

<M委員>

子ども達の下校時間から退勤時間までが1時間もないため、勤務時間を伸ばさざるをえないかと思います。柔軟な日課で下校時間の早い日を作って、先生達が教材研究や事務仕事をできるフリーな時間を確保していかないといけないですね。

<宮澤教育長>

来年度、各学校の校長先生の意識としては日課を柔軟に考えていきたい思いがあるようです。

(5) 町教育委員会研修視察について【2月7日(金)】

- ・宮澤教育長より説明。
- ・当日の集合時間は7時半を予定している。
- ・研修旅費は事務局で一括して精算する。不足分がある場合は徴収する。

(6) 第6回あり方検討委員会について【1月30日(木)】

- ・宮澤教育長より説明。
- ・具体的な事例や課題を整理して、教育情勢や新しい学校のスタイルについて荒井先生にお話をいただけるよう依頼していく。

(7) 川島小学校卒業証書授与式から閉校式について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『川島小学校卒業証書授与式から閉校式について(教育委員会案)』を提示。

- ・当日の流れと教育委員の座席位置について確認。

(8) わたしたちのふるさと「辰野町」編纂について

- ・宮澤教育長より説明。
- ・資料として『わたしたちのふるさと「辰野町」編纂に当たって』を提示。
- ・小中学生が分かりやすい、ガイドブック的な役割になることを想定している。

<小澤学校支援課長>

学びの支援課が監修することで、アドバイスや資料の提供ができて先生方の助けになるのではないかと思います。

<N委員>

この資料集は児童生徒に向けたものというイメージなのでしょうか。

<宮澤教育長>

そうですね。小中学生が使用するものになります。私が教育長になった頃から辰野町でも作りたい気持ちがありましたが、思うようにいきませんでした。川島小学校閉校にあたって県から加配をつけてもらい、資料集編纂にあたっての許可もいただいていたので取り組んでいくことになりました。

7 報告事項

(1) 市町村教育委員会連絡協議会報告

- ・次回の市町村教育委員会連絡協議会の内容とまとめて報告予定。

(2) 令和5年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の報告

- ・宮原学校支援課長補佐より説明。
- ・資料として『教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書』を提示。
- ・令和5年度の新たな取り組みとして、辰野東小学校に学びの支援教室「たつのこ学舎」を開設し、早い段階で支援の必要な児童生徒に寄り添うことができた。

8 閉会